

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校
平成30年度『学校だより』
第1号 H30, 4, 13
校長 古関 明善

『新たな出会いが子ども育てる』

校長 古関 明善

42名の新入生を迎えて、平成30年度がスタートしました。新たな出会いの始まりです。「自分で選ぶことのできない出会いが、自分で選んだ以上の出会いになる」そんな素敵な出会いになればいいなあと思います。私たち全職員で全校生351名を担当させていただきます。本年度も学校だより『愛・誠・勇』を引き続きお届けします。『愛・誠・勇』の名称は、本校の校訓として明治40年に4月1日に制定されたもので、その校訓をそのままいただきました。創立134年目を向かえた本校のよき伝統を大切にしながら、さらに本校に集う351名の子どもたちにとって、より学びがいのある学校を作っていきたいとの思いによるものです。この学校だより『愛・誠・勇』が、家庭や地域と学校をつなぐ架け橋になればと願っております。



第1学期始業式校長式辞より抜粋

(前略) 先生方は、これまでたくさんの時間をかけて、福島第三小学校の皆さんに、こんな子になってほしいという目標をつくってきました。それは、「すすんで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「たくましい子ども」の三つです。これらのめあてをいつも頭に入れて、ひとみ輝く子どもに育ってほしいのです。勉強を通して輝くこともあるでしょう。係の活動の中で輝くこともあるでしょう。しかし、輝いているひとみは、自分では見えません。友達の姿をしっかりと見て、おたがいに認め合い、よいことはまねをしてみんなに広げていくことが大切です。ひとみが輝いている姿があふれる学校になるよう期待しています。

次に、校長先生がみなさんに絶対守ってもらいたいことを、三つお話します。

一つめは、「人のものを盗らない」ということです。人のものを盗るのは、小学生であっても泥棒です。どんなにほしいものであっても、人のものを盗んではいけません。上履きや帽子など、物をかくしたりしてもいけません。

二つめは、「うそをつかない」ということです。うそをつくことは、相手を裏切ることです。友だちからの信頼をなくし、友だちを失います。顔つきも悪くなります。

三つめは、「人の心や体を傷つけない」ということです。暴力は絶対にいけません。また、みんなで一人の人に悪口を言っていじめたり、無視したりすることも、心を傷つけることになります。自分がされていやなことは、相手もいやなのです。人をいじめたり暴力をふるうことを、校長先生は絶対に許しません。

これからそれぞれの学級で生活することになりますが、担任の先生とも話し合って、これからも素晴らしい福島第三小学校の児童になるよう、頑張りましょう。



[校庭の桜]



[避難訓練]



[交通教室]



- ・年間の学校行事予定を配付します。
- ・安心メールへの再登録をお願いいたします。

